

オイルシール用グリース G634グリースシリーズ(一覧)

G634-B 標準用 ゴムに影響の少ないとされている鉱油ベースのリチウム系

G634-E 耐熱用 高温領域で使用されるシールの潤滑用

G634-F 食品用 食品用配合ゴムに対して悪影響を与え無い
当社食品向けシール類の潤滑用

G634-C 食品用 鉱油に耐性の無い
エチレンプロピレンラバー (EPDM) の潤滑用

先進の密封技術をクリエイトする
武蔵オイルシール工業株式会社
<https://www.musashi-os.co.jp/>
MUSASHI OIL SEAL MFG. CO., LTD.

本 社	〒106-0032 東京都港区六本木5-11-29	TEL (03)3404-6341	FAX (03)3405-7465
東京営業所	〒341-0054 埼玉県三郷市泉2-14-9	TEL (048)954-6439	FAX (048)954-6659
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町2-21-32	TEL (06)6369-6341	FAX (06)6369-6344
札幌営業所	〒003-0808 札幌市白石区菊水8条2-2-4	TEL (011)813-6341	FAX (011)817-7301
福岡営業所	〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-5-9	TEL (092)482-6341	FAX (092)441-1555
仙台営業所	〒984-0002 仙台市若林区卸町東1-4-11	TEL (022)235-6341	FAX (022)235-6351
名古屋営業所	〒460-0022 名古屋市中区金山5-4-16	TEL (052)857-6341	FAX (052)857-6343
船橋工場	〒274-0825 千葉県船橋市前原西1-38-9	TEL (047)476-6341	FAX (047)475-3285
大田原工場	〒324-0043 栃木県大田原市浅香3-3718	TEL (0287)22-6341	FAX (0287)23-7716

No.G-4-5-22

オイルシール用 グリース

OIL SEAL GREASE



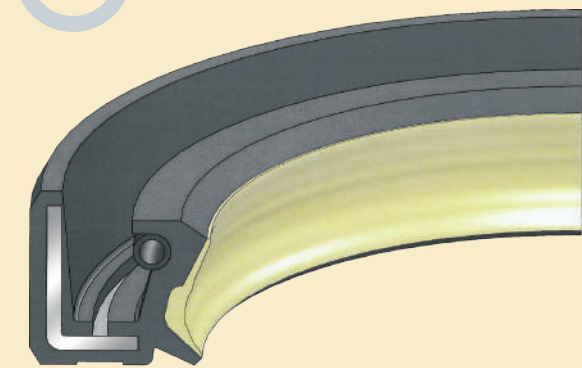
先進の密封技術をクリエイトする
武蔵オイルシール工業株式会社

オイルシール用グリース **G634**

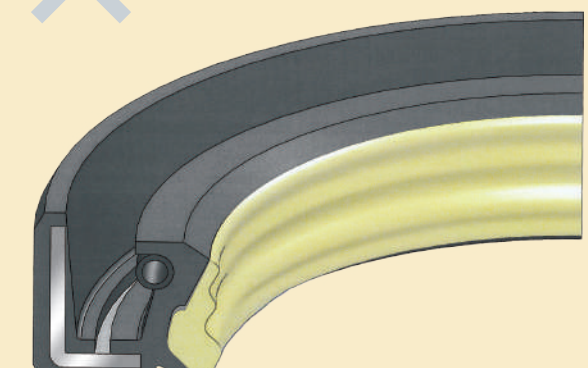
オイルシール用グリースG634シリーズはオイルシール・Oリングの初期潤滑用に開発されたグリースです。オイルシール・Oリング等のゴム製シール類を使用する際は、潤滑剤を塗布する事が不可欠です。G634シリーズはオイルシールメーカーである弊社が、「オイルシールを使用する場合に塗布するグリースは、どのようなグリースを塗布するか?」との御問合せに対応する為に開発したグリースです。一般オイルシールにはG634-B、耐熱用にはG634-E、食品用にはG634-F、EPDM用にはG634-Cを御使用下さい。

オイルシールを組み込む前にはリップ部の初期潤滑の為に図の様にリップ先端にグリースを塗布する必要があります。

良い例



悪い例



※はみ出すほど塗布している。

Oリングを組み込む際にも、ねじれの防止やオゾンクラックへの対策として
空気が触れないようにグリースを塗布して下さい。

※オイルシール用グリースシリーズG634B、E、Fは鉱物油に対し耐性の無い
エチレンプロピレンゴム (EPDM) ・スチレンブタジエンゴム (SBR) には使用
出来ません。

標準用 G634-B

G634-Bはオイルシールの組み立て時には欠かせない初期潤滑用グリースとして開発されました。オイルシールの標準材であるNBRは優れた耐油を有しておりますが、高性能な耐熱・高加重向けを売りにしているグリースやモリブデン等の添加剤が多く含まれるグリースは、オイルシールのリップ部にとっては適さない事が判ってきました。それらの経験から、このグリースはゴムに影響の少ないとされている鉱油ベースのリチウム系グリースで、使用初期段階で摩擦熱の発生が少ない上に摩耗量が少なく、伸びが良い、オイルシールの潤滑用に相応しいグリースとして開発されました。



用途	外観	荷姿・容量	定価
汎用	淡黄色	スプレー缶・300ml	1,500円
		プラスチック容器・1ℓ	5,400円

基油	鉱油
増ちょう剤	リチウム石けん
使用温度範囲	-10～120℃

項目	G634-B
混和ちよう度 (25℃)	274
滴点	℃ 195
基油粘度 (40℃)	mm2/s 121
酸化安定度 (99℃・100h)	kPa 30
銅板腐食試験 (100℃X24h)	合格

耐熱用 G634-E

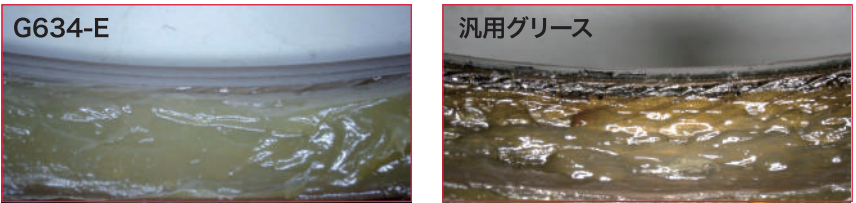
G634-Eは高温領域で使用されるシールの潤滑用として開発されました。機械装置の進歩によりオイルシールが使用される部分は高速・高回転化が進んでいます。それに伴い発熱量も増加し、より耐熱性の高いフッ素ゴム・シリコンゴムが多く使用される傾向にあります。当然それらのパッキン類に塗布する潤滑剤にも耐熱性が必要となります。

耐熱性の低いグリースを使用しますと、熱によりグリースが焦げた様な状態になり、グリース自体が異物の役割をしてオイルシールの漏れ原因となる事があります。



用途	外観	荷姿・容量	定価
耐熱用	褐色	ジャバラ・80g	1,395円
		プラスチック容器・1ℓ	7,490円
		プラスチック容器・2.5kg	18,190円

G634-Eは-20℃～+200℃の使用温度範囲を持ち、熱による変質を起こす事なく御使用いただけます。



基油	鉱油
増ちょう剤	リチウムコンプレックス石けん
使用温度範囲	-20～200℃

項目	G634-E
混和ちよう度 (25℃)	280
滴点	℃ 277
基油粘度 (40℃)	mm2/s 160.2
酸化安定度 (99℃・100h)	kPa 30
銅板腐食試験 (100℃X24h)	合格

食品用 G634-F

G634-Fは食品加工機械・食品包装機械・医薬品製造機械等を生産されているお客様へシール部品組立時の潤滑剤として開発されたグリースです。NSF H1登録品であり安心して御使用いただけます。G634-Fは当社の「厚生省公示第370号 食品、添加物等の規格基準」に適合する食品用配合ゴムに対して悪影響を与え無い事を確認し、当社食品向けシール類の潤滑用グリースとして最適なものとしました。
*エチレンプロピレンゴム (EPDM) には使用出来ません。

NSF H1 146467



用途	外観	荷姿・容量	定価
食品用	淡褐色半透明	ラミネートチューブ・60g	2,140円
		プラスチック容器・1ℓ	8,560円

基油	流動パラフィン
増ちょう剤	アルミコンプレックス石けん
使用温度範囲	-20～120℃

項目	G634-F
混和ちよう度 (25℃)	272
滴点	℃ 256
基油粘度 (40℃)	mm2/s 67.86
酸化安定度 (99℃・100h)	kPa 30
銅板腐食試験 (100℃X24h)	1*
水洗耐水度 (79℃、1h)	質量% 9

*試験後の銅板は、紫掛かった薄いピンク色に変色 (ASTM D130 銅板腐食見本で2bに相当)、但し緑色及び黒色変化は認められなかった。

食品用 G634-C

G634-Cは鉱油に耐性の無いEPDM(エチレンプロピレンラバー)に使用可能なグリースとして開発されました。食品加工機械、医薬品製造機械、食品包装機械等は化学薬品を使い洗浄する為、シール製品にEPDMを多く使用しています。シール製品には、初期潤滑やゴム部品組み付け時の挿入性を向上させる目的でグリースを塗布する事が欠かせません。しかし通常のグリースではEPDMに耐性が無いため使用する事が出来ませんでした。そこでEPDMにも使用出来るグリースを開発しました。食品対応もしておりNSF H1に登録されている材料を使用していますので、食品関係にも安心して御使用いただけます。



用途	外観	荷姿・容量	定価
EPDM用	白色	ジャバラ・80g	4,450円
		プラスチック容器・1ℓ	40,660円

基油	シリコン油
増ちょう剤	PTFE
使用温度範囲	-50～150℃

項目	G634-C
混和ちよう度 (25℃)	245
滴点	℃ 261
基油粘度 (40℃)	mm2/s 757
酸化安定度 (99℃・100h)	kPa 5
銅板腐食試験 (100℃X24h)	合格